

第56回島根県中学校総合体育大会 柔道の部 開催要項

1. 目的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広く柔道競技実戦の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。

2. 会場 島根県立石見武道館 浜田市黒川町3735番地 (Tel 0855-23-7170)

3. 会期 令和4年7月23日(土)、24日(日)

4. 競技日程

7月23日(土) 男女団体戦

	入場	仮計量	本計量	練習時間
石見	8:10~8:30	8:30~8:50	8:50~9:10	9:20~10:00
出雲・雲南	8:50~9:10	9:10~9:30	9:30~9:50	10:00~10:40
松江・隠岐	9:30~9:50	9:50~10:10	10:10~10:30	10:40~11:20

- ①審判監督会議 11:30~11:45
- ②開始式 11:50~11:55
- ③柔道衣チェック 12:00~12:15 (地域ごとに実施)
- ④試合開始 12:25~
- ⑤終了式(予定) 15:45~

7月24日(日) 男女個人戦

	入場	仮計量	本計量	練習時間
石見	8:00~8:20	8:20~8:30	8:30~8:40	8:50~9:30
出雲・雲南	8:40~9:00	9:00~9:10	9:10~9:20	9:30~10:10
松江・隠岐	9:20~9:40	9:40~9:50	9:50~10:00	10:10~10:50

- ①審判監督会議 11:00~11:15
- ②開始式 11:20~11:25
- ③柔道衣チェック 11:30~11:45 (地域ごとに実施)
- ④試合開始 11:55~
- ⑤終了式(予定) 15:30~

5. 参加資格

- (1) 参加者は、島根県中学校体育連盟加盟の中学校に在籍し、校長が参加を認めた1校単位で編成されたチームおよび個人とする。
- (2) 参加者は、6ヶ月経過後の柔道修行経験があり、試合に十分耐えられる技能と体力を有するものとする。

6. 参加制限

(1) [男子団体戦]

- ◆1校1チーム選手7名以内とし、監督(当該校の校長・教員)、コーチ(当該校に常勤する県費及び市町村費による教職員又は当該校の校長が認めた者…注1)、マネージャー各1名とする。
- ◆チーム編成は、最も体重の重い者を「大将」とし、以下順次体重順とする。補員をいれた場合も同様に、体重順とする。一度退いた選手は、出場することはできない。…注2

(2) [女子団体戦]

- ◆1校1チーム選手5名以内とし、監督(当該校の校長・教員)、コーチ(当該校に常勤する県費及び市町村費による教職員又は当該校の校長が認めた者…注1)、マネージャー各1名とする。
- ◆チーム編成は、最も体重の重い者を「大将」とし、以下順次体重順とする。補員をいれた場合も同

様に、体重順とする。一度退いた選手は、出場することはできない。…注2

(3) [男子個人戦] ※人数制限はしない。

50kg級 (50kg以下)	55kg級 (50kg超～55kg以下)
60kg級 (55kg超～60kg以下)	81kg級 (73kg超～81kg以下)
66kg級 (60kg超～66kg以下)	90kg級 (81kg超～90kg以下)
73kg級 (66kg超～73kg以下)	90kg超級 (90kg超)

(4) [女子個人戦] ※人数制限はしない。

40kg級 (40kg以下)	44kg級 (40kg超～44kg以下)
48kg級 (44kg超～48kg以下)	63kg級 (57kg超～63kg以下)
52kg級 (48kg超～52kg以下)	70kg級 (63kg超～70kg以下)
57kg級 (52kg超～57kg以下)	70kg超級 (70kg超)

(5) 脳振盪対応について

選手および指導者は下記事項を遵守すること

- ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

7. 競技規則

(1) 国際柔道連盟審判規定及び国内における「少年大会特別規定」による。

(2) 柔道衣は白色とする。

(3) (公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

(4) 柔道衣に規定のゼッケン(学校名、名字入り)を縫い付けて出場すること。

① 布地は白地(晒、太綾)

② サイズは横30～35cm、縦25～30cm

③ 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3

④ 書体は太字ゴシック体とする。(明朝または楷書体でも可)

⑤ 男子は黒色、女子は濃い赤色。

⑥ 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

※(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿・帯)を着用すること。(新規格の赤色のマーキングのもの)

(5) 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。

※Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定(平成25年度4月1日より施行)に準ずる。具体的には以下の通り。

① 色は白、半袖、丸首であること。

② 製造業者マークは、最大20cm²のサイズであれば認められる。柔道衣を着用した際に、製造業者マークが見えてはならない。

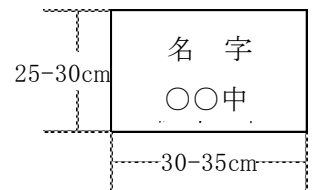
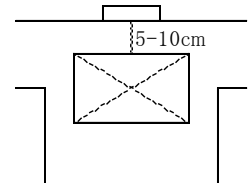
③ 正式な国家、NOC、もしくはIJF加盟連盟のエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大100cm²とする。

④ 所属名称もしくは、所属を表すエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大100cm²とする。

⑤ いかなる商業的なマーキングもつけてはならない。

(6) 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。

(7) 胸マーキング等について、道場名等は不可とする。



8. 競技方法 (1) 団体戦

- ① 予選リーグ、決勝トーナメント戦を行う。
- ② 試合時間は3分間とし代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
- ④ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技あり」 > 「僅差」

- ⑤ リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。
 - ア. チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 - イ. アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
 - ウ. イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
 - エ. ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
 - オ. エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
 - カ. オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する。(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う。)
 - ⑥ トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。
 - ア. チーム間における勝ち数による。
 - イ. アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 - ウ. イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
 - ⑦ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
 - ⑧ 代表戦で両者反則負けの場合には、チームは次の試合に進めない。
- ※新型コロナウイルス等感染症の感染状況により、競技方法を変更する場合がある。

(2) 個人戦

- ① 各階級ともトーナメント戦とする。
(参加人数によっては、リーグ戦とすることもある。)
- ② 試合時間は3分間とし、延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
得点差が無い場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
- ④ 両者反則負けの場合には、両者とも次の試合に進めない。
- ⑤ 選手には、監督・コーチのどちらか1名は付き添うこと。
- ⑥ リーグ戦の場合の順位決定は、次の方法によって決定する。
[各試合ともゴールデンスコア方式により必ず勝敗を決定する。]
 - ア. 勝ち負けの率による。
 - イ. アにおいて同等の場合は、勝ちの内容による。
 - ウ. イにおいて同等の場合は、負けの内容による。
 - エ. ウにおいて同等の場合は、直接対戦の結果による。
 - オ. ウにおいて、3名以上が同等の場合は、抽選によるトーナメント戦で再試合を行う。

9. 計 量

- (1) 公式計量の前に非公式計量(仮計量)を行う。
- (2) 非公式計量では、指定時間内に自由に体重を測定することができる。
- (3) 公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。
- (4) 公式計量の服装は、男子は下穿、女子はTシャツと下穿の着用を認める。
なお、下着の着用は認めるが、包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
 - ① 団体戦 (ア) チームごとに登録選手全員が下穿を着用し、測定を行うこと。
(イ) 順番の入れ替え等があった場合は計量担当より、審判・監督会議で通知する。
 - ② 個人戦 定められた階級の体重区分内にはないものは失格とする。
※ 別室計量が必要な者は、あらかじめ申し出ること。

10. 表彰 [団体] 男子の部 1 位に賞状・優勝トロフィーを、2・3 位に賞状を授与する。
 女子の部 1 位に賞状・優勝杯を、2・3 位に賞状を授与する。
 [個人] 各階級 1 位に賞状・優勝杯を、2・3 位に賞状を授与する。

◎中国大会へは、団体上位 4 チーム、個人は男女各階級上位 4 名を推薦する。
 (8 月 6 日、7 日 島根県)
 ◎全国大会へは、団体優勝チーム、個人は男女各階級優勝者を推薦する。
 (8 月 22～25 日 福島県)

11. 個人情報について

個人情報のうち、大会運営上必要がある名前、学校名、学年、階級（個人戦の体重区分）、段位、体重については公開する。また、報道機関に記載の提供を求められた場合は提供する。

12. その他連絡事項

- (1) プログラム作成上、申込〆切期日までに下記のメールアドレスへ、Eメールで申込書を送信し、正式申込書は郵送する。《浜田市中体連柔道専門部 吾郷直樹 n-ago@hamada.ed.jp》
 郵送先 〒697-1322 島根県浜田市日脚町572 浜田市立第三中学校内
- (2) 申込費用は、1 人 1, 200 円とし、登録人数分を該当口座まで振り込むこと。
 ※1：申込費用内訳は大会負担金 700 円、熱中症・感染症対策費 500 円。
 ※2：申込費用を該当口座へ振り込み後は、送金通知書のExcelデータを、主管中体連事務局へ送付すること。《浜田市中体連事務局 谷口一真 k-taniguchi@hamada.ed.jp》
- (3) 選手申し込み後、登録選手の変更は認めない。
- (4) 服装点検は、試合開始前に当該審判員により行う。
- (5) 令和 3 年度、優勝旗・杯・盾等を授与した者は、開始式前に必ず返還すること。

<p>【団体】 [男子] 隠岐の島町立西郷中学校</p> <p>【個人】 [男子] 50 kg級 坂田 秀太 (西 郷) 60 kg級 倉橋 英太 (松 江 二) 73 kg級 坂田 堅蔵 (西 郷) 90 kg級 中前 元 (西 郷)</p> <p>[女子] 40 kg級 富田伊央莉 (開 星) 48 kg級 小野ひかる (松 江 四) 57 kg級 福田さくら (松 江 二) 70 kg級 藤原 美愛 (松 江 二)</p>	<p>[女子] 松江市立第二中学校</p> <p>55 kg級 中居 研心 (西 郷) 66 kg級 田中 和人 (松 江 一) 81 kg級 寺田 圭吾 (開 星) 90 kg超 中田 泰輔 (西 郷) 44 kg級 西藤 心彩 (西 郷) 52 kg級 加藤 桜来 (掛 合) 63 kg級 永田 理穂 (美 保 関) 70 kg超 ()</p>
--	---

※新型コロナウイルス感染症への対策について

- ・新型コロナウイルス感染症の状況により大会を中止する場合がある。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により無観客での大会開催とする場合もある。
 (変更等あれば後日、連絡する。)
- ・本大会は別添「令和 4 年度島根県中学校体育連盟主催大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」に従って開催する。

注 1…校長の認めた者については、所定の様式により、あらかじめ県中体連柔道専門部へ届け出ておくこと。(団体戦・個人戦を含め各校 1 名以内とする。)

注 2…チームの選手数が不足しているときも、体重の最も重い者を大将とし、体重順に以下詰めていくこと。試合途中で不足が生じたときも同様である。